



学校教育目標

伸びて立つ夏井っ子

① よく考え、学び続ける子

「な」に事もよく考え、めあてをもって意欲的に学び続ける子ども

② 強くたくましい子

「つ」よい意志をもち、ねばり強く健康でたくましい子ども

③ 心豊かで思いやりのある子

「い」つでも明るく、豊かな心をもち、やさしい子ども

経営の方針

- ◎ 育成をめざす資質・能力を明確にした教育活動による、一人ひとりの子供への「生きる力」の保障
- ◎ 極小規模校の特性を生かした、すべての子供が有用感・成就感を実感できる教育活動の展開
- ◎ 望ましい人権感覚の育成と安心・安全な学校づくり

よく考え、表現する力

(思考・判断・表現)

- (1) 自分の考えをもち、筋道立てて考え、適切に表現することができる子供を育てます。
- ①自分の考えをもとに学び合い、分かったことや考えたことを表現する授業を展開します。
  - ②教育活動のあらゆる場面で、自分の考えを表現する機会を位置づけます。
- (2) 問題解決的な学習を大切にし、学び合いからよりよい考えを見出し、解決しようとする子供を育てます。
- ①付きたい力を明確にし、子供たちと共に学習課題・問題を設定して、見通しを共有しながら、身に付けた知識・技能を使い、思考を働かせて問題解決に向かう授業を行います。
- (3) 毎日家庭学習に取り組む子供を育てます。  
【低学年：20分、中・高学年：学年×10分】
- ①家庭学習の内容や手順について分かりやすく指導し、授業と連動した内容となりますようにします。

やり抜く力

(粘り強さ・自己調整)

- (1) 運動・食・生活習慣の大切さを知り、健康や安全を意識して生活する子供を育てます。
- ①「60プラスプロジェクト」の取組を充実させ、食の大切さや早寝・早起き、バランスのとれた体力の向上に努めます。
  - ②避難訓練等の防災教育を通して、「自分の命は自分で守る」ために思考・判断する力を育てます。
- (2) めあてに向かって、粘り強く最後まで取り組む子供を育てます。
- ①行事等で付きたい力を子供と共有し、めあてや取組等を自己決定させ、振り返る活動を大切にします。
- (3) メディア（ゲームやインターネット、動画視聴やSNS等）に関わる「きまり」を守る子供を育てます。
- ①情報モラル教育やメディア利用についての指導を発達段階に応じて実施し、その大切さを自覚させます。

かかわる力

(社会性・協調性)

- (1) 自他の命を大切にし、いじめをしない思いやりのある子供を育てます。
- ①道徳授業の充実と、「相互理解・寛容」を中心とした教育活動全体で行う道徳教育を充実させます。
  - ②いじめ防止に係る子供たち主体の取組を進めます。
- (2) よりよい集団生活に向けて、友達などと協調することができる子供を育てます。
- ①異学年集団での活動を設定し、友達の考えに耳を傾けるなど、合意形成の経験を積ませます。
  - ②教師による指導だけではなく、教育活動のあらゆる場面で自主的かつ自治的な活動を大切にします。
- (3) 地域とつながり、「ふるさと夏井」を大切に思う子供を育てます。
- ①夏井地区の人や伝統、自然環境などを生かした体験・交流活動を展開し、携わる人たちの想いにふれる教育活動を実施します。

学校の取組

家庭の取組

- (1) ことばを大切にした会話を心がけましょう。自分の考えや思いを話したり、書いたりすることを褒めましょう。
- (2) 家庭学習の時間を確保し、テレビを消す等、集中できる環境を整え、励ましの声かけをしましょう。

- (1) 家族で、規則正しい生活やバランスのよい食事を心がけましょう。
- (2) 災害について話題にし、避難が必要なき時の対応を家族で確認しましょう。
- (3) メディア利用の「きまり」を家族で話し合って決め、守らせましょう。

- (1) 学校生活アンケートの実施に合わせ、困ったことはないか声かけをしましょう。
- (2) 家族でもあいさつを大切にし、親が率先してあいさつをする姿を見せましょう。
- (3) 地域行事に積極的に親子で参加し、学校行事にも積極的に参画しましょう。